

野菜花き 7月下旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 7月22日、23日、24、25日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場では着果期であった。アザミウマ類の寄生花率は前回調査より低く少発生であったが、オオタバコガによる果実の被害が多かった。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は、前回までの調査ほ場（施設・半促成栽培）が終了したため、今回から別ほ場（施設栽培）の調査であり、収穫が始まっていた。葉かび病の発生がみられ、平年と比べやや多かった（図1）。わずかではあるが、輪紋病の発生もみられた。また、前回までの調査ほ場ほどではないが、オンシツコナジラミの寄生がやや多かった。また、スポット的にハダニ類の寄生がみられた（少発生）。



図1 トマト葉裏の葉かび病の病斑（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は収穫期であった。うどんこ病の発病株率、発病葉率は前回調査よりわずかに高かった。害虫の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫期であった。べと病の発生がみられたが、少発生であった（図2）。アザミウマ類は前回調査に比べ少なく、わずかな寄生頭数であった。



図2 キュウリべと病（中野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、病害虫の発生はみられなかった。アザミウマ類は前回調査より寄生花率が低くなったものの、継続してみられた。病害の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は結球期であった。黒腐病の発生がみられたが、わずかであった。ウワバ類の寄生株、チョウ目害虫の被害株がみられたが、少発生であった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であった。コナガ、ウワバ類の寄生株、チョウ目害虫の被害株がかなり多かった。病害の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は収穫期であった。株腐病の発生がみられたが、わずかであった。ウワバ類の寄生株、チョウ目害虫の被害株がみられた（少発生）。

御代田町の巡回ほ場は結球期であった。チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は収穫期であった。株腐病、黒腐病の発生がみられた（少発生）（図3）。また、ウワバ類の寄生株、チョウ目害虫の被害株がみられたが、わずかであった。



図3 キャベツ株腐病（長野市）

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は収穫期であった。コナガ、ウワバ類の寄生株、チョウ目害虫の被害株がみられ、いずれも少発生であった。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は生育期（7～8葉期）であった。コナガの寄生株、チョウ目害虫の被害株がみられたがわずかであった。病害の発生はみられなかった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は未定植であった。

小諸市の巡回ほ場は周辺ほ場も含めて作付けが無かった。

小海町の巡回ほ場は生育期（13～14葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は生育期（6～7葉期）であった。チョウ目害虫の被害株がみられた（少発生）。その他の病害虫の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は生育期（8葉期）であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がみられたが、いずれも少発生であった。害虫の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は結球期であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がみられたが、いずれも少発生であった。害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は収穫期であった。すそ枯病の発病株率がやや高かった。また斑点細菌病が少発生であった。害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は結球始期であった。すそ枯病、斑点細菌病が少発生であった。害虫の発生はみられなかった。

飯綱町の巡回ほ場は生育期（4葉期）であった。病虫害の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は立茎期であった。茎枯病が少発生であった。また、全株にアザミウマ類の寄生が確認され、数株にチョウ目害虫（オオタバコガ幼虫）の寄生がみられた。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ施設栽培）は茎葉繁茂期であった。全株にアザミウマ類の寄生が確認され、1株でチョウ目害虫（ヨトウ類幼虫）の寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（雨よけ施設栽培）は、立茎期であり、被覆資材は除去されていた。病虫害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は茎葉繁茂期であった。茎枯病の発病株率が前回調査と比べかなり高かったが、ほぼ平年並の発生であった。また、斑点病の発生がわずかにみられた。アザミウマ類の寄生株率は高かった。

9 ながいも

長野市の巡回ほ場は生育期であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は生育期であった。アブラムシ類の寄生がみられたが、少発生であった。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、破蕾期（草丈110cm程度）であった。ハモグリバエの寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 7月18日、19日、22日、24日、25日、26日

1 トマト

伊那市及び安曇野市の巡回ほ場（いずれもジュース用、露地栽培）では、果実の肥大、一部着色が始まっていた。いずれの巡回ほ場でも、果実及び葉に灰色かび病（いずれも少発生）の発生がみられた。また、いずれの巡回ほ場でも、葉及び果実にオオタバコガ（多発生）の寄生がみられたほか、伊那市の巡回ほ場では葉にヒゲナガアブラムシ類（多発生）の寄生、安曇野市の巡回ほ場では葉にオンシツコナジラミ（少発生）、花にアザミウマ類の寄生（少発生）、果実に白ぶくれ症果（少発生）の発生がみられた。

南箕輪村（施設・半促成栽培）の巡回ほ場では、収穫が終了していた。松本の巡回ほ場（施設・抑制栽培）では、未定植であった。

2 きゅうり

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫中であった。病虫害の発生はみられなかった。

松本の巡回ほ場（施設・抑制栽培）では、未定植であった。

3 すいか

飯島町の巡回ほ場では収穫前、松本市の巡回ほ場では着果中（いずれも収穫終了のためほ場変更）であった。

いずれの巡回ほ場でも、ワタアブラムシ（中発生・多発生）の寄生がみられた（図4）。

4 キャベツ

茅野市の巡回ほ場では、収穫期であった。べと病（外葉のみ）及び軟腐病（いずれも少発生）の発生がみられたほか、外葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられた。

塩尻市の巡回ほ場では、収穫中であった。病虫害の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場では収穫が終了していた。



図4 すいかのワタアブラムシ
(松本市)

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場では未定植であった。

6 はくさい

木祖村の巡回ほ場では、生育期（7～8葉期、収穫終了のためほ場変更）であった。外葉にべと病（少発生）の発生がみられた（図5）。

朝日村の巡回ほ場では、未定植であった。

7 レタス

塩尻市洗馬の巡回ほ場では収穫期、塩尻市片丘の巡回ほ場では生育初期（収穫終了のためほ場変更）であった。いずれのほ場でも病害虫の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場では、結球前であった。外葉に斑点細菌病（少発生）がみられたほか、軟腐病（少発生）による株の腐敗がみられた。

8 セルリー

原村の巡回ほ場では収穫が終了していた。

9 アスパラガス

豊丘村、飯島町の巡回ほ場ではいずれも茎葉繁茂期、池田町の巡回ほ場では立茎中であった。豊丘村の巡回ほ場では、茎枯病（少発生）の発生がみられたほか、払落し調査でアザミウマ類及びアブラムシ類（いずれも少発生）、ハダニ類（多発生）の寄生がみられた。飯島町の巡回ほ場では、茎枯病（中発生）の発生がみられたほか、払落し調査でアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。池田町の巡回ほ場では、払落し調査でアザミウマ類及びアブラムシ類（多発生・中発生）の寄生がみられた。

10 ねぎ

豊丘村では6.0葉、南箕輪村では6.0～6.5葉、山形村の巡回ほ場では6.0葉であった。いずれの巡回ほ場においても、黒斑病（中発生・中発生・少発生）、さび病（多発生・多発生・少発生）、べと病（中発生・少発生・少発生）の発生がみられた（図6）。虫害では、いずれのほ場においても、アザミウマ類（甚発生・中発生・甚発生）、ネギハモグリバエ（多発生・少発生・多発生）の寄生がみられたほか、豊丘村の巡回ほ場でネギコガ（少発生）の寄生がみられた。

11 ながいも

山形村の巡回ほ場では、萌芽が始まっていた。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

12 きく

富士見町の巡回ほ場では、破蕾期～出荷前と多少生育にばらつきがみられた（草丈125cm）。蕾付近にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた。



図5 ハクサイべと病（木祖村）

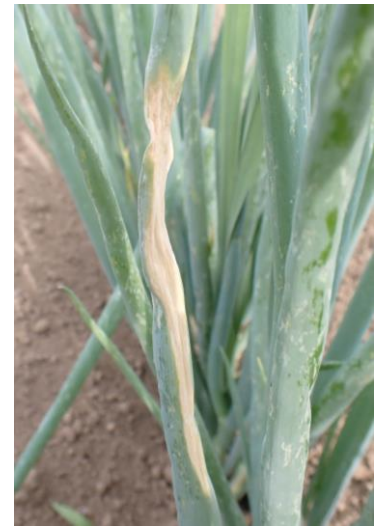


図6 ネギべと病（豊丘村）